

事業コード	H24-建-新-02		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課	
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2485	
路線名等	(主)鷹巣川井堂川線		担当課長名	阿部喜巳	
箇所名	北秋田市杉山田		担当者名	佐藤秀治	
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造	
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通の整備	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県道の整備推進	

## 1. 事業の概要

事業期間	H25 ~ H28 (4年)		総事業費	3.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=1,200m 幅員 W=6.0(8.5)m (1.25-3.0-3.0-1.25) 一部歩道あり						
事業の立案に至る背景	本路線は北秋田市の国道7号から上小阿仁村の国道285号に至る県道で、沿線には北秋田市民病院、市庁舎、大館能代空港、北欧の杜公園、大野台工業団地等があり、地域生活、物流、観光面等から重要な路線であり、災害時の緊急輸送道路にも位置づけられている。 当該計画区間は、杉山田の集落内を通過しており、屈曲部(最小曲線半径 R=25m)が連続しており大型車の交差が困難なほか、家屋も連担し見通しも悪いこと等から、北秋田市から要望書が提出されている。						
事業目的	バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良及び幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上 ・通過交通の排除による沿線住民である歩行者、自転車の安全性の向上						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度以降
	事業費		350,000	40,000	80,000	135,000	95,000
	経費内訳	工事費	230,000			135,000	95,000
		用補費	80,000		80,000		
		その他	40,000	40,000			
	財源内訳	国庫補助	245,000	28,000	56,000	94,500	66,500
		県 債	94,400	10,800	21,600	36,400	25,600
その他							
一般財源	10,600	1,200	2,400	4,100	2,900		
事業内容			測量、各種調査、詳細設計、用地測量	用地補償	本工事	本工事	
調査経緯	平成15年度 道路概略設計						
上位計画での位置付け	ふるさと秋田元気創造プランの「社会資本整備」を推進する事業						
関連プロジェクト等	一般県道大館能代空港西線(鷹ノ巣西道路) 道路改築事業(H24~H29) 合川東、合川西、合川南、合川北の4小学校を、合川小学校に統合(H26)						
事業を取り巻く情勢の変化	地元の総意としての要望あり						
事業効率把握の手法	指 標 名	県道改良率					
	指 標 式	改良済延長/路線実延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有	無	
	目標値 a	70 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	72 %					
	達成率 b/a	102 %		把握の時期	平成24年 4月		

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	上小阿仁村や杉山田の集落から北秋田市民病院等の医療機関にアクセスする重要な路線である。 集落内は最小曲線半径が25mの屈曲部があり、幅員も狭く車両の交差が困難な状況で、冬期はさらに通行が困難になる。	31点
緊 急 性	地元からの要望も継続してあり、坂と屈曲部が連続して有り、見通しも悪い。 交通事故も発生しており、とくに冬期には車両の交差が困難。	7点
有 効 性	通過交通がバイパスに流れることにより、現道の交通量が大幅に減少し、沿線住民や歩行者、自転車の安全性が確保できる。 当該計画区間の前後は改良済みであることから、当該計画区間を改良することで、国道285号が通行止め時の代替路としての機能が向上する。	15点
効 率 性	事業の費用便益は2.5であり、効率性が高い。 ・総事業費の現在価値4.1億円 ・総便益の現在価値10.1億円 計画交通量は1,200台/日である。	15点
熟 度	北秋田市より、早期道路改良の要望書が提出されており、地元における熟度が高い。	15点
判 定	ランク ( )	83点
	ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該路線は、沿線地域の生活、物流、観光面等の重要な路線であり、災害時の緊急輸送道路にも位置づけられている。屈曲部が連続し、大型車の交差が困難なほか、家屋連担により見通しが悪いこと等から、交通の安全性の確保の観点から、必要性及び緊急性は高く、事業実施という1次評価は妥当と判断される。

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は災害時の緊急輸送道路、通勤・通院等の生活道路として重要な道路であるが、カーブの連続や狭小な幅員により過去に交通事故が発生しており、事業実施の優先度は高い。バイパスの歩道設置を行わないほか、バイパスにより補償費が過大となる現道の拡幅を避けた上で、補償物件が少ないルートを選択するなどコスト縮減の観点からも妥当である。

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。
----------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価

事業コード (H24-建-新-02 )

適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

箇所名 (北秋田市杉山田 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	25	25	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	20		
	・最小半径 < 100m	1箇所	15		
	・最急勾配 > 5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪巾なし	5件該当	15		
	道路環境上の欠陥該当項目	4件該当	12		
	・現道の混雑度 1.0	3件該当	9		
	・現道の旅行速度 30km/h	2件該当	6		
	・現道の事故率 50件	1件該当	3		
・通学路指定で歩道なし	該当項目なし	0			
・重大交通事故が発生					
計			40	31	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	4	4	
	・県の主要プロジェクト				
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3	3	
		位置づけなし	0		
交通量	増加している	3	0		
	増加していない	0			
特有の課題の有無	あり	5	0		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	7	
有効性	道路の位置づけ				
	生活圏30分形成道路等	該当する	5	5	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	5	5	
		該当しない	0		
地域防災計画上重要な道路	該当する	5	5		
	該当しない	0			
計			15	15	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	8	8	
		0.5以上1.0未満	5		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	7	7	
	500台/日以上1,000台日/未満	5			
	300台/日以上500台日/未満	3			
	300台/日未満	0			
計			15	15	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	5	5	
		口頭要望あり	3		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	5	5	
	用地反対	0			
地元への方針説明	あり	5	5		
	なし	0			
計			15	15	
合計			100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		